

安全・安心で持続可能な未来に向けた社会的責任に関する円卓会議  
地球規模課題ワーキンググループ  
趣意書（案）

## 1. 方針

21世紀に入り、グローバル化の進展に伴い、一国だけでは解決できない地球規模課題が深刻化する中、日本の果たすべき社会的責任は重みを増している。地球や人類の持続可能性を脅かし、日本社会にも大きな影響を与える環境破壊や貧困など、地球規模課題を解決するためには、私たち一人ひとりが、世界の現状について知り、自身の生活との繋がりについて考え、それぞれの立場でアクションを起こしていく必要がある。そこで、本ワーキンググループでは、国内の消費者や労働者、経営者や投資家の眼を地球規模の課題に向けさせ、日本として社会的責任を果たすためにどのような協働が求められているのかを検討し、協働の戦略を策定し、機会を創出する。

## 2. 検討課題

世界的な人間開発を推進する上での喫緊の課題を解決するために定められた「ミレニアム開発目標」に含まれる諸課題や、環境破壊などの地球規模課題に対して、あらたな協働のあり方を確立することを念頭に置き、国際的な視点や、各地域の意見もしながら、初年度は以下の課題について検討を重ね、取り組む。

## ① 貧困・開発問題

貧困削減の方策としては様々なものがあるが、本円卓会議で実現すべき価値やそのための条件として「信頼性のある公正な市場環境の整備」というキーワードが掲げられている。既存の価値観を超えた新たなビジネスモデルとして、フェアトレードやエシカルトレード（倫理的な取引）、BOP（Base of Pyramid）ビジネス等の可能性が大きな関心を集めている。また、次代を担う子どもたちの健全な成長と教育、基本的な権利・欲求を奪う児童労働は、公正な労働環境や公正な取引を阻むもので、地球規模での持続可能な発展をも妨げることになる。さらに、2015年の目標年を目前にして達成が危ぶまれているミレニアム開発目標についても、啓発を含めたマルチステークホルダーの取り組みが求められている。ゆえに、以下の4つの課題に取り組むこととする。

## (ア) フェアトレード

- (イ) 児童労働
- (ウ) BOP (Base of the Pyramid)
- (エ) ミレニアム開発目標

② 環境問題

最も緊急な課題のひとつであり、一般的な関心も高いのが地球温暖化の防止である。国連気候変動枠組条約をはじめとした多くの取り組みの中で、新たなビジネスモデルも展開されつつある。生物多様性保全も国際的な取り組みがすでに進み、今後ますます協働が必要となってくる分野である。これら低炭素社会の実現や生物多様性の確保のためにも、森林保護は喫緊の課題であり、資源としての水の問題も、国際化しつつある。相互に関連するこれらの問題について、今後各セクターの協働による取り組みが必要とされている。

- (ア) 森林保護
- (イ) 低炭素社会の実現
- (ウ) 生物多様性
- (エ) 水

3. ワーキンググループ (WG)委員

WG委員について、現時点での立候補は以下。今後、各セクターから随時委員を募集する。WG委員の承認はワーキンググループにて行う。

(2010年4月22日現在)

| WG委員一覧 (敬称略) |  |
|--------------|--|
| 事業者          | 経済同友会が参加検討を開始  |
| 消費者          | 日本生活協働組合連合会等が検討中                                     |
| 労働組合         | 鈴木宏二 (日本労働組合総連合会 国際局次長)<br>杉山豊治 (日本労働組合総連合会 社会政策局局長) |
| 金融           | 金井 司 (住友信託銀行 企画部CSR担当部長)                             |
| 政府           | 経済産業省：確認中<br>外務省：<br>環境省：                            |
| 専門家          |  |

2010年4月22日第3回準備会後更新  
地球規模課題WG

|                  |  |
|------------------|--|
| NPO/NGO<br>(主幹事) | 黒田かをり (CSO ネットワーク共同事業責任者)<br>小松豊明(特定非営利活動法人シャプラニール クラフト・リンク チーフ)<br>開澤真一郎 (特定非営利活動法人 NICE 代表)<br>堀江良彰 (特定非営利活動法人難民を助ける会 事務局長)<br>吉澤有紀 (特定非営利活動法人難民を助ける会 広報・支援者担当)<br>星野智子 (地球環境パートナーシッププラザ)<br>岩附由香 (特定非営利活動法人 ACE 代表)<br>*宮下恵 (特定非営利活動法人 国際協力 NGO センター 調査・提言グループ アシスタント・マネージャー)<br>*確認中 |
|------------------|--|

4. 主査  
調整中

5. スケジュール

| 月                             | 目標と会議など  |
|-------------------------------|--|
| 4月1日～20日                      | 委員の選出  |
| 4月22日(木)<br>16時半～18時半<br>(予定) | <u>WG準備会合(第3回)</u>                                 |
| 4月中・下旬                        | <u>運営委員会</u>                                       |
| 5月上旬                          | <u>戦略部会・総会</u>                                     |
| 6月22日<br>16時半～18時半<br>(予定)    | <u>WG委員の選出、今後の進め方についての計画の承認、勉強会の企画内容検討, WG立ち上げ</u> |
| 7月                            | <u>WG 勉強会①</u>                                     |
| 8月                            | <u>WG 勉強会②</u>                                     |
| 9月                            | <u>WG 勉強会③</u>                                     |
| 10月                           | <u>WG 協働事例収集・発表</u>                                |
| 11月                           | <u>WG 協働事例収集・発表</u>                                |
| 12月                           | <u>WG 協働事例を元にした協働の領域についての議論</u>                    |
| 1月                            | <u>地球規模課題の協働戦略のドラフト開始</u>                          |

|    |                        |
|----|------------------------|
| 2月 | <u>地球規模課題の協働戦略のまとめ</u> |
| 3月 | <u>総会で承認</u>           |

6. 予算

勉強会講師 3万円×2人×3回=18万円  
協働事例収集・発表講師 3万円×2人×2回=12万円  
計 30万円

7. 予算についての検討事項及び備考

勉強会の開催について、一般の方も参加できるような形にし、参加費をいただいて、それをこのワーキンググループの活動資金とすることを検討する。  
地域展開については、円卓会議の全体として地域へ説明、また意見をいただき、参加できる仕組みについて予算計上していただくことを全体として、ここでは計上をしていない。

以上